

猛毒の針を持つ巻き貝に注意してください！

牟岐町でも、エビ網に南方系の猛毒の巻貝がかかりました。

甲浦で見つかったアンボイナ貝と、今回牟岐で見つかったタガヤサンミナシ貝は、いずれもイモガイの仲間です。

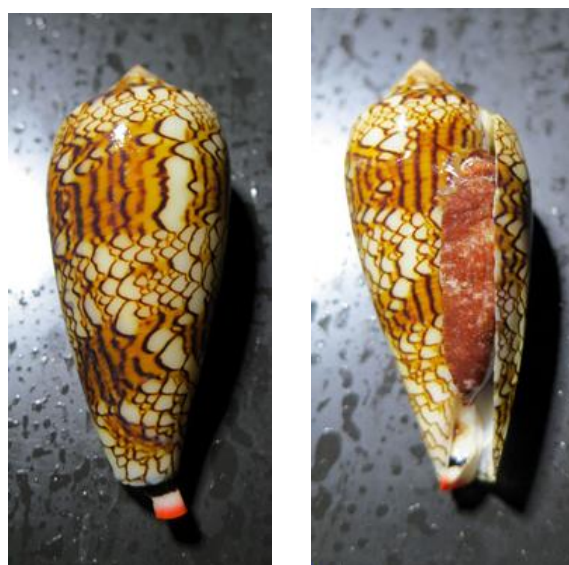
イモガイの仲間は、刺されると死亡するおそれもある大変危険な貝です。類似の貝には手を触れないよう、十分ご注意ください。

今回見つかった貝：

タガヤサンミナシ貝

- ・ アンボイナ貝と同じイモガイ科。
- ・ 10cm以上に成長する南方系の巻貝。
- ・ 口内に猛毒を注入する毒針を隠し持つ。
- ・ 毒はコノトキシンという神経毒。

【経緯】10月14日朝、牟岐東漁協の漁業者が仕掛けたエビ網に5cm程度のタガヤサンミナシ貝がかかっているのを、「モラスコむぎ」の職員が発見したとのこと。



【写真】今回漁業者から提供のあった
タガヤサンミナシ貝(モラスコむぎ提供)

※10月1日に高知県甲浦で見つかったアンボイナ貝や、今回見つかったタガヤサンミナシ貝が属しているイモガイ科の貝は、模様は美しいですが強い毒をもっています。見つけても触らないようにしてください。



高知県甲浦で見つかったアンボイナ貝

刺された場合は一刻も早く心臓に近い所を紐などで縛り、毒を吸い出し、医療機関の診察を受けてください！

南部総合県民局産業交流部〈美波〉
水産振興担当

電話 0884-74-7380

FAX 0884-74-7378